

FMアップルウェーブ 第97回放送番組審議会

開催日時

平成28年4月16日(土) 12:00~13:00

開催場所

土手町コミュニティパーク地域交流室(弘前市土手町)

出席委員

副委員長 工藤 茂起、
委員 鳴海 清彦、太田 眞理子、高村 智子、大西 晶子、檜山 史子

会社側出席者

代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、取締役:倉田 昌直
放送部統括マネージャー:花田 由香子 チーフ:玉田 雅規

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について6月18日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組 特別番組『3・11を忘れない～そしてあしたへ』(3月11日13:00~15:50)

- ① 震災から5年、振り返るのに良い番組。時間ごとのテーマを設け、しっかり伝えていたのが良かった。地方・地域によって対策の仕方、重要なポイントなどに違いがあることがわかった。全体的に、繰り返しリスナーに注意喚起するのが良かった。
- ② 震災を経験していない人が聴いても備えなどについて知ることができる意義のある番組であった。日頃から防災士のコーナーがあるが、防災士からの防災に関する情報が得られるのは「いざというときにFMアップルウェーブを聴こう」という気持ちになる。
- ③ 被災地のコミュニティとのつながりによって、被災地の現状を現地からの声として知ることができて良かった。災害時の基本行動は地域によって異なるので、自分の地域の情報・状況を得る事が重要。保育園からの中継によって、子どもや高齢者に対する防災についても考える機会となった。
- ④ 防災には「生死に関わる」ということを第一に考えなければならないという事を強く感じた。命を最優先に考えたときに何をするのか。それらを再確認できた良い番組。
- ⑤ 保育園の避難訓練の中継は、「親も知らない、子どもたちが知っていること」というのが印象的。想いを伝えるのか、事実を伝えるのか。事実をしっかり伝えるべき。丁寧に作られている番組
- ⑥ 3/11 に防災番組を放送する意義。企画・構成・パーソナリティと防災士とのやりとり、綿密に準備されて作られているのが伝わった。しっかりと取材もされている。防災を担うコミュニティ FM の集大成と言える番組。保育園副園長の子どもたちへの丁寧な語り口がとてもよい。

【審議機関の答申または改善】

地域の災害時、さまざまな情報がある中でどの情報を流すのかの選択が重要。日頃からのコミュニケーションや、リスナーへの啓発を行うこと。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載